

# ヒューマンライブラリー 体験会



**6月13日(火) 18時~20時 N313**

ヒューマンライブラリーとは、在日外国人、障がい者、セクシュアルマイノリティなど、生きている「本」との対話を通して、多様性に関わった社会を目指すイベントです。学芸大学でも昨年12月初めて開催され、本年度も12月頃、本イベントを開催の予定です。それに先立ち、ヒューマンライブラリー体験会を行いますので、是非、お気軽に読みにいらしてください。

## 今回 お招きする「本」

- ・ 山口通さん（全盲の元高校教員）「障碍から「障生」へ」
- ・ 万里さん（セクシュアルマイノリティ（Xジェンダー））  
「性別は男、女だけでは分けられない」
- ・ クルド人難民（申請者）「なぜ日本に来たのか、クルド難民の実態は？」

代表連絡先：留学生センター 岡 智之 [okatom@u-gakugei.ac.jp](mailto:okatom@u-gakugei.ac.jp)

## お招きする「本」のタイトル、あらすじとプロフィールなど

### 山口通さん（全盲の元高校教員）

タイトル：障碍から「障生（しょうせい）」へ

あらすじ：高校教員生活の半ばで、難病により、中途失明。そのとき、私には世間がどう写ったのか。そして、そこからどう生きたのか。また「障碍」「障がい」の言葉について、少し考えてみました。

プロフィール：哲学冒険家。篠笛奏者。全盲のコメンテーター。高校教員 36 年。

全国視覚障害教師の会代表（2002 年～2010 年）。

認定 NPO 法人タートル幹事（中途失明の皆さんのための支援法人）

NHK テレビ、ラジオ番組に多数出演。学校・大学などで講演を展開。

著書『おもしろ哲学 未華の冒険』本の泉社 2016 年

### 万里さん（X ジェンダー）

タイトル：性別は男と女だけでは分けられない。

あらすじ：男でもあり、女でもある。男でないようで、女でもない。X ジェンダーという性別で良かったことや悩んだことなど、ざっくばらんにお話したいと思います。

プロフィール：「すべての性に、ひとりじゃない安心を」

日本セクシュアルマイノリティ協会 第一期スペシャルメンバー

### Y・G さん（クルド人難民）

「なぜ日本に来たのか。クルド難民の実態は？」

現在、埼玉県蕨市と川口市には、1200 人ともいわれるクルド人のコミュニティがある。1990 年代からトルコでの政治的迫害を逃れてやってきた難民だという。しかし、クルド人の難民申請が受け入れられたのは今までゼロである。ほとんどが「仮放免」という形で、就労も許されず、健康保険も入れないなど人権が脅かされている状況である。今回は、当事者であるクルド人の方を迎え、日本に来るに至った経緯や、日本での生活の状況などを話していただく。